一般財団法人 食品安全マネジメント協会
Japan Food Safety Management Association

持続可能サプライチェーン評価プラットフォーム SSCAP：Sustainable Supply Chains Assessment Platform のご紹介

©2025JFSM

JFSMの概要

- ✓ 一般財団法人 食品安全マネジメント協会は、**日本発の食品安全マネジメント規格・認証スキーム（JFS規格）の構築・運営**をするため、2016年に**多くの食品企業賛同**のもと設立されました。
- ✓ JFS規格の提供に加え、**持続可能サプライチェーン評価プラットフォーム(SSCAP：Sustainable Supply Chains Assessment Platform）の提供**を通じて、**食の安全や安心、品質の担保、社会的責任の遂行をワンストップで支援**し、**フードインテグリティ**の向上を目指しております。
- ✓ **台灣優良食品發展協會（TQFA）**と食品安全規格およびSSCAP関連事業について**業務連携協定を締結**しています。
- ✓ **日本・台湾**から**アジア**へ、アジアから**世界**へと、**フードインテグリティの輪を拡大**してまいります。



HACCPを普及させ輸出拡大



食品安全管理コストの最適化



国際ルール策定に参画する専門人材を育成



現状を見える化して社会的責任活動推進



サステナブル調達の負荷軽減



社会的責任活動を担う専門人材を育成

©2025JFSM

SSCAPの概要

持続可能サプライチェーン評価プラットフォーム
SSCAP：**S**ustainable **S**upply **C**hains **A**ssessment **P**latform

- ✓社会の持続可能な発展に関する活動を可視化するための、チェックリストによる**自己評価ツール**です。
- ✓世界標準ISO26000を参照しながらも、**日本・台湾企業の状況を踏まえて専門家によって作られた日本発のサービス**です。
- ✓自己評価関連のコンテンツ・ツールだけではなく、SSCAPガイドラインやE-Learningなど学習関連ツールを提供する、**社会の持続可能な発展に関するワンストップ・プラットフォーム**です。
- ✓**ご登録から2年間無料**でご利用いただけます。

社会の持続可能な発展に関する取り組みへのハードルを下げる

©2025JFSM

SSCAPを使ってできることと特長

サプライヤー管理ツールとして

- ✓ **サプライヤー管理コスト（費用、作業負荷）の軽減**をはかります。
- ✓ **サプライヤーからの理解や協力**を得やすくし**回収率を向上**させます。
- ✓ リアルタイムで把握することで、**リスクの芽を素早く摘み取ります**。
- ✓ 高リスク状態にあるサプライヤーを特定することで、**モニタリング精度**を高めます。
- ✓ 共通課題や優先課題を特定することで、**サプライチェーン全体の競争力を高めます**。

取り組み状況可視化ツールとして

- ✓ 全方位の設問で抜け漏れなく問題・課題を抽出し、**取り組みのスピードを加速**します。
- ✓ ダッシュボードで情報を集約することで、**必要な情報をいつでも簡単に抽出することができます**。
- ✓ 最大10年間の経年比較により、**施策の効果検証と将来の見通しづけ**を可能にします。

関係者の理解促進ツールとして

- ✓ 背景や理由を理解する（「**なぜ」を払拭する**）ことで、**一人ひとりの認識成長を促します**。
- ✓ 評価結果の読み込み方や手順を習得することで、**自社の現状に対する正しい理解**を促進し、**会社全体のベクトルを揃えます**。
- ✓ 具体的な行動をイメージできるようになることで、**今後の行動変容を促します。**

©2025JFSM

SSCAPの利用イメージ

サプライヤー側



- ✓ **評価ガイダンス**にもとづき、200問程度の設問に回答する。（標準設問の場合）
- ✓ 設問によっては、**エビデンスをアップ**する（自社方針、マニュアル等）
- ✓ 設問によっては、**フリーコメントを追記**する。
- ✓ **ガイドラインを参考**にし、自社の結果を閲覧・分析する。
- ✓ **自社課題を抽出**し、課題解決に向けた施策を立案する。



JFSM/TQFA

システムオーナー・管理者

調達側



- ✓ **パッケージ（標準パッケージ：標準設問197問をそのまま使う、オリジナルパッケージ：一部もしくは全部を調達事業者オリジナルの設問に変更する）**を選択する。**ガイドラインを参考**にし、サプライヤーの結果を閲覧・分析する。
- ✓ **エビデンスを確認**する。
- ✓ **結果について質問や確認**をする。
- ✓ 課題解決に向けて、**サプライヤーに協力**する。

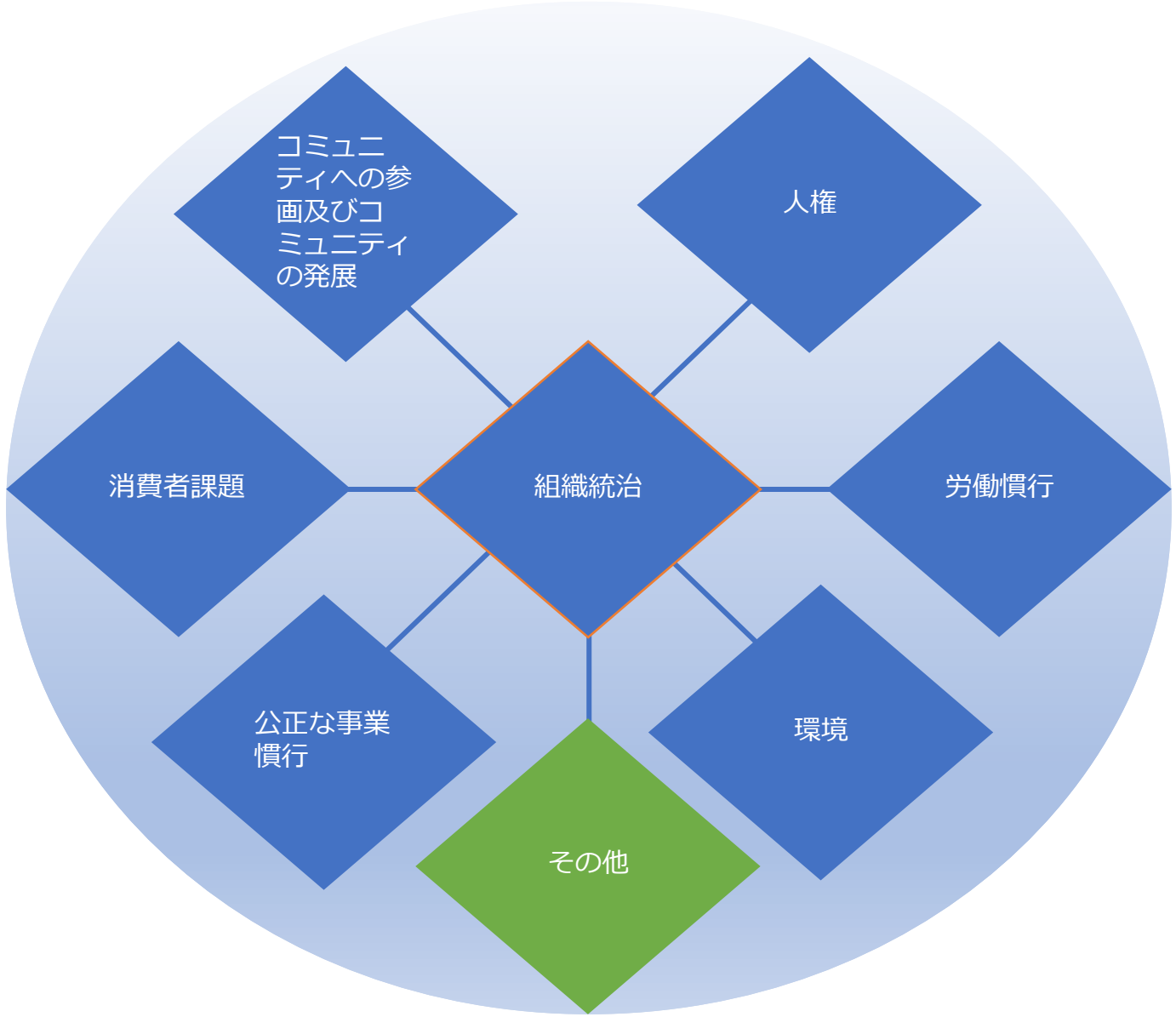
©2025JFSM

パッケージと提供機能

	標準パッケージ	オリジナルパッケージ
年間登録料	**※登録から2年間無料でご利用いただけます**	
要求事項（設問）197問の利用	○	○
自社要求事項（設問）の追加	×	○
システム利用（ID/PWの取得）	○	○
調達の登録・招待	○	○
サプライヤーの登録	○	○
サプライヤーによる結果入力	○	○
ダッシュボード閲覧	○	○（度数分布のみ）
評価ガイダンス	○	×
SSCAPガイドライン	○	△
e-learning	○	△
経年比較	○	○
他社（回答企業全体、業界別）比較	○	×

©2025JFSM

枠組み



ISO26000
7つの中核主題

分析にもとづき追加した要素

©2025JFSM

設問および評価ガイダンスの例

設問	評価ガイダンス
組織は、ステークホルダーが**事業活動に関する懸念事項、法令違反の通報、各種ハラスメント等の苦情を通報したり報告したりできるメカニズム（内部通報制度、ホットラインなど）を構築**しなければならない。	ステークホルダーが、事業活動に関する懸念事項・法令違反の通報・各種ハラスメント等の苦情を相談したり通報したり報告したりできる受付窓口が構築されており、**規程によってその位置づけ・相談プロセス・記録方法等が明確に定められている**。

＜組織統治　苦情処理メカニズム（内部通報制度、ホットラインなど）の構築より＞

組織は、サプライヤーを対等なパートナーとして尊重し、**無理のない価格、納期、数量を設定し、迅速に支払い**をしなければならない。	サプライヤーとの取引は、**契約書や発注書による契約に基づいて公正・公平に実行**されており、威圧的なコミュニケーションや、過剰・不当な要求を出す等の事例は確認されていない。

＜公正な事業慣行　公正な競争より＞

©2025JFSM

評価入力方法

パターン１
単独で画面入力

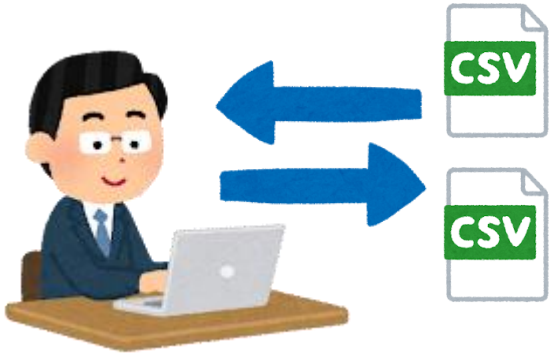


パターン2
複数で画面入力

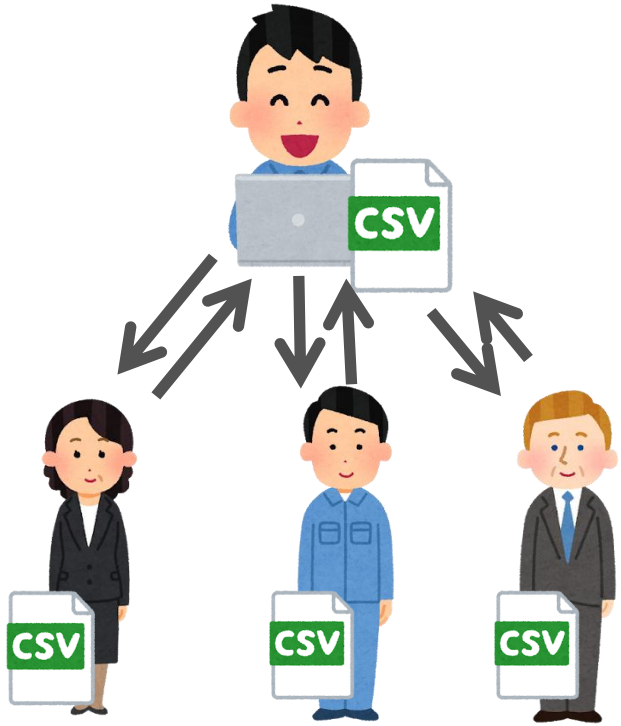




パターン3
単独でCSV入力



パターン4
複数でCSV入力



©2025JFSM

入力画面

【入力画面】

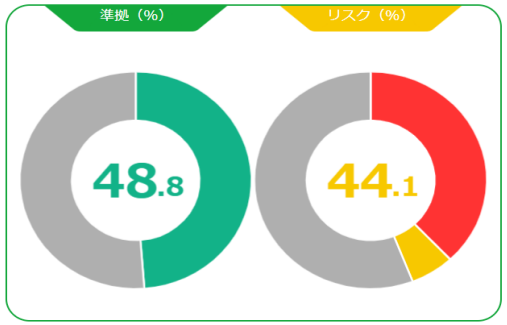


©2025JFSM

ダッシュボード

【調達・サプライヤー共通】

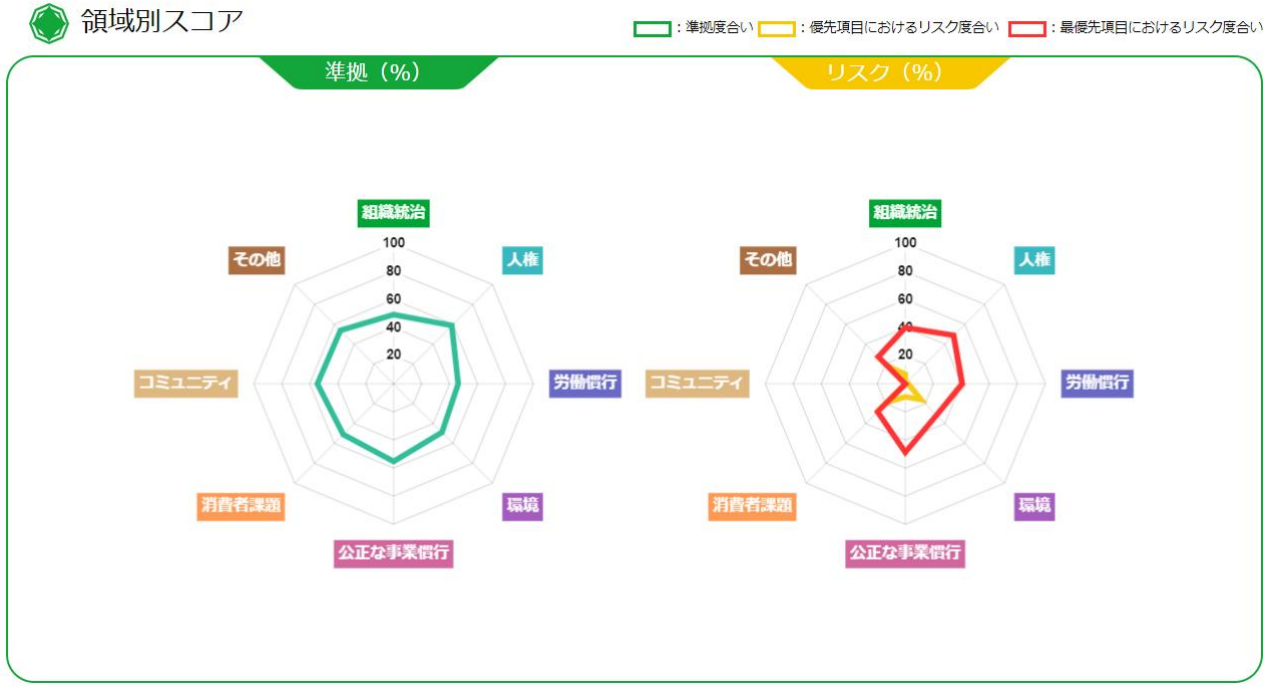
総合スコア



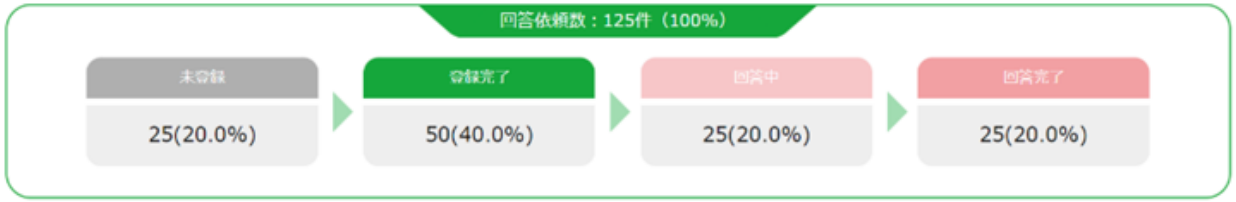
総合スコア経年比較



領域別スコア



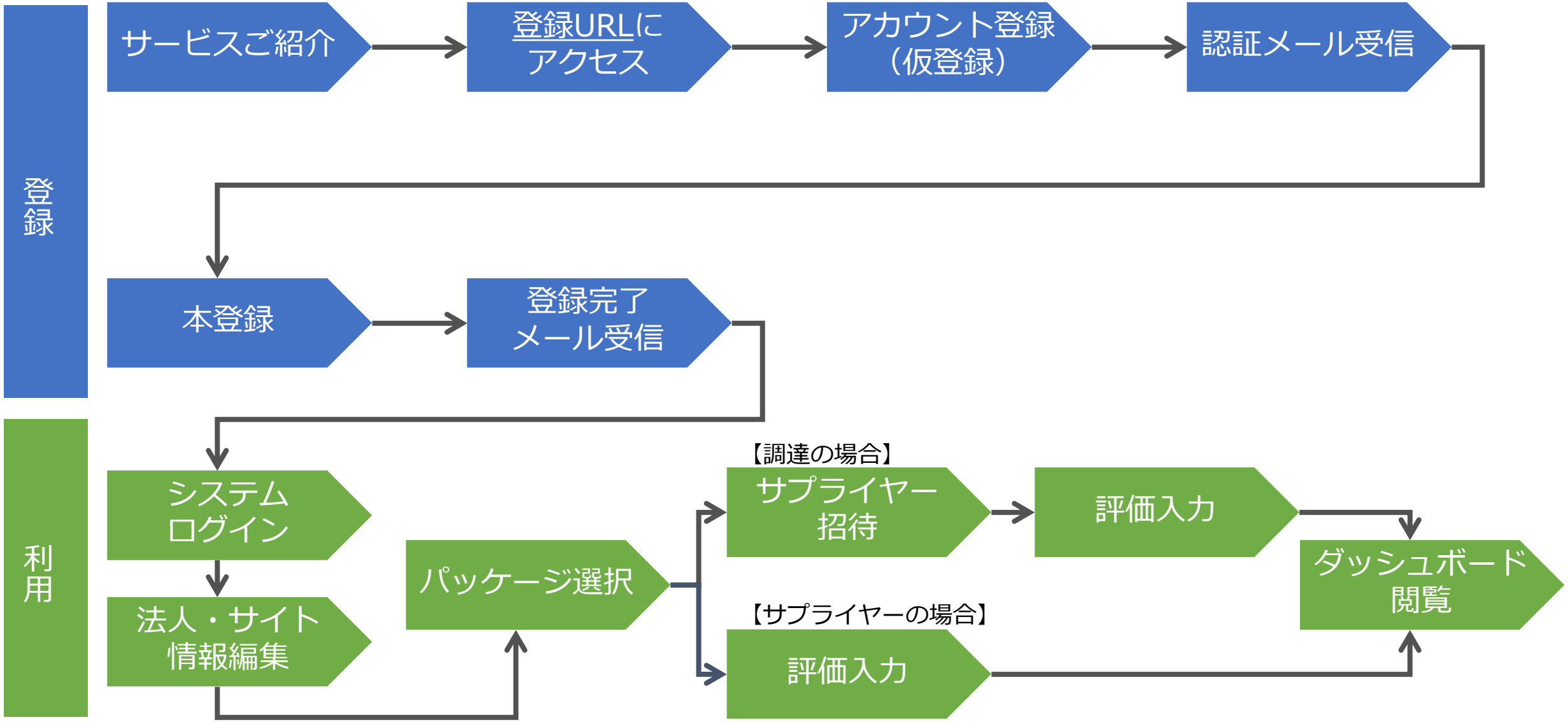
【調達のみ】





©2025JFSM

SSCAP導入・利用の流れ



©2025JFSM

問い合わせ先・申込先

SSCAP
for continuous Kaizen (improvement)
持続可能サプライチェーン評価プラットフォーム
Sustainable food Supply Chains Assessment Platform

一般財団法人 食品安全マネジメント協会
東京都中央区銀座8丁目17番5号　THE HUB 銀座 OCT 605号室
SSC事業部
TEL：03-6268-9691　E-Mail：sscap@jfsm.or.jp
URL：https://www.jfsm.or.jp/ssc/

©2025JFSM